



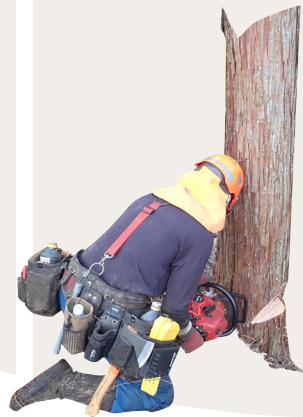
staying in the forest



「費用もかけて手間ヒマかける。そんな家造りもいいじゃない。」
そんな「こだわりを持つ方」、お気軽にお問い合わせください。

「ただけど、いい家」。

ちょっと割高。そして手間暇かかる。



愛媛初

愛媛の森からつくる、 県産材100%^{※1}の家。

[原木生産] × [製材・プレカット] × [地元工務店]。
できそうでできなかった取組みを実現。
そして生まれる、質がいい・環境にいい・地域にいい家。

※1: 構造材、羽柄材(野地、床は対象外)

安くないと売れない。いつからかそんな定説が囁かれ、優良なローコスト住宅も次々と誕生した。でも、「いいものは高い」。それで担保する品質、環境や地域への配慮。そんな家もいいじゃないか。県産材100%でJAS規格というこだわり。山側(原木生産)⇄製材・プレカット業者⇄地元工務店。愛媛の木を知り尽くした職人たちがタグを組んで、愛媛で育った木で愛媛に建てる。できそうでできなかった、オール愛媛でのチャレンジ。木を知り尽くした職人たちと、手間ヒマかけて建てる家。ご興味がある方、話だけでも聞いてみようかなという方、是非お気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせ]

社名 /

連絡先(担当者) /

愛媛県産材100%住宅プロジェクト まじめ「純媛産材のいえ」協議会



「オール愛媛」体制で チャレンジ。

質がいい・環境にいい・地域にいい家。

2021年末に発生したウッドショックでは、日本各地で建築資材の不足により国産材製品の需給逼迫、製品価格の急激な高騰を生じさせ消費者に多大な影響を及ぼすことになりました。事実、外国産材への依存度が高いこと、国産材の産地との連携も希薄であることが要因の一部と考えられます。そこでこの度、愛媛の木材関連事業者と地元工務店が連携しICT技術を活用して地域における木材の安定的な確保のための体制を整備しました。



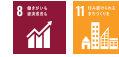
地元木材を使用する意義

1 持続可能性と環境への配慮



地元木材の使用は、遠くから輸送される木材よりも環境に優しい選択肢です。輸送に伴う排出量やエネルギー消費を削減し、森林を保全し、地域の生態系にも配慮します。県内森林の整備に繋がりが、水源かん養や土砂流出防止へも貢献できます。

2 地域経済の支援



地元木材を使用することで、地域の木材業者や労働者に利益がもたらされます。地元の経済を活性化させ、雇用機会を増やすことができます。

3 地域の文化や特性の尊重



地元木材を使用することで、その地域固有の木材や建築様式を尊重し、文化や伝統を維持することができます。建物が地域に溶け込み、地域の個性をよりよく反映します。

4 品質と信頼性



地元の木材は、地域の気候や環境に適応した木材であることが多く、建物の耐久性や品質にプラスの影響を与えます。また、地元の木材業者からのサポートやアドバイスも得やすく、建設プロジェクトの品質を向上させることができます。

5 構造材は強度の確認されたJAS材



JAS規格2級以上で含水率20%以下、丸み無し仕様で木材ならではの「クセ」が抑えられ、住宅に関する規制強化にも対応した安心して使える木材です。

地元木材を使用することは、持続可能性、経済的利益、文化的価値、品質向上など多くの面で有益です

県産材100%を叶える愛媛初の仕組みを構築。

県産材を知り尽くした職人たちが集結。

一般社団法人 愛媛県中小建築業協会

